

災害対策について問う

防災計画に基づき体制の整備に努める



宮本 昭一 議員

雨季に備え台風対策も含めて本町の災害対策は万全か。また、昨年の反省点を今後の対策にどのように反映していこうと考えているか。

防災体制の整備に努める

町長

大崎町地域防災計画は、応急対策を実施するための災害警戒本部及び対策本部の設置、災害対策要員等について定めている。災害発生時の初動体制も重要であるので、職員の情報連絡体制及び分掌事務の対応を再度通知し、関係機関と連携を取りながら防災体制の整備に努

めていく。

具体的な検討は

宮本議員

昨年6月議会で質問した河川氾濫への影響を考慮して、三文字市街地の上流域における排水系統の分散化と、集中豪雨を緩和するための、調整池の具体的な検討はどのようにされたか。

実施調査中である

町長

大崎町総合雨水排水対策検討会を設置し、事業方針を定めて関係機関に対し、雨水排水対策について要望活動を実施している。県道側溝の排水先分散化を県と協議中であり、また、三文字市街地においては、既存の排水路及び道路側溝への流域・流量調査と改修に向けた雨水排水調査業務を

発注し、現在実施調査中である。本調査後に調整池等の計画について検討したい。

特設公衆電話の設置の考えは

宮本議員

特設公衆電話を自治体の避難所に置くことによ

実施する

町長

NTT西日本鹿児島支店と特設公衆電話の利用・設置に関する協定の準備を進めており、協定



県道垂水～大崎線 水之谷地区

り、電話機を回線につながり、一般電話より優先的につながり、避難住民の通信手段が確保される。本町も一部山間地になっており、道路が寸断される集落の孤立が予想される。避難所に特設公衆電話の回線設置の考えはないか。

緊急用保存食の備蓄の考えは

宮本議員

緊急用保存食に米を主体とし、さらにアレルギ一特定原材料などを排除した、救給カレーがある。近隣の曾於市・東串良町はすでに備蓄しており、志布志市も本年度より導入ということである。本町の学校給食にも緊急用の保存食を備蓄できないか。

前向きに検討したい

教育長

自然災害等不測の事態に備えた緊急用保存食の備蓄は現在実施していない。今後、発生が予想される南海地震等不測の事態に備えて、非常食の備蓄については必要であると認識しているので、導入に向けて前向きに検討したい。

紙おむつ補助制度の創設の考えは

宮本議員

町長は、施政方針の中で、若者が定住しやすい環境整備の施策に取り組み、人口減少に歯止めを掛けたいと言っている。本町も人口減少、少子化が進む中、若者を定住させる子育て支援策の一環として、1歳未満児の紙おむつ補助制度を創設する考えはないか。

現段階では実施しない

町長

現在子育て支援策として、乳幼児を養育する保護者に対しチャイルドシートなどの無料貸し出しや、高校生までの子ども医療費無料化、不妊治療費の補助額の増額など、子育てしやすい環境づくりに取り組んでおり、乳幼児の紙おむつ補助制度はいまのところ実施の考えはない。

※その他の質問
地域おこし協力隊導入について